

平成24年度事務事業評価シート(23年度実施事業分)

事業番号	07 03 04	中期総合計画主要施策番号	2-02,2-07	担当課	部・課	観光部観光振興課	
事業名	信州「食」の魅力向上事業				内線		
					E-mail	kankoshin@pref.nagano.lg.jp	
実施期間	H20 ~	根拠法令等	「観光立県長野」再興計画				
実施方法	県が直接実施					国庫・県単	県単独事業
事業の概要等	目的(必要性)	宿泊滞在型観光の促進、国内競争力の強化を図るため、観光旅行者の満足度を高める観点から宿泊施設の「食」の魅力づくりを図る。					
	対象	・ホテル、旅館など宿泊施設の経営者及び調理人					
	目指すべき姿	・「信州「食」の魅力づくり実践講座」の開催により、食の魅力をお客様に感じていただき、「県内の宿泊施設などの料理に対する満足度」を向上につなげる。					
	事業内容	・旅館、ホテル、ペンション、民宿など宿泊施設の経営者及び調理人を対象に、「信州の食の魅力」をお客様に感じてもらうための手法を学ぶ講座を開催する。					
事業コスト	区分		単位	22年度	23年度	24年度(当初)	23年度事業費の主な内訳 ・報償費:150千円(講師謝金) ・旅費:31千円(講師費用弁償)
	最終予算額 (A)		千円	25,577	476	8,108	
	決算額 (B)		千円	25,424	181		
	B(H24はA)のうち一般財源		千円	3,688	181	8,081	
	概算人件費	従事する職員数	人	0.80	0.80	0.80	
		概算人件費 (C)	千円	6,654	6,606	6,606	
概算事業費 (B(H24はA) + C)		千円	32,078	6,787	14,714		
事業実績	成果指標・活動指標内容		単位	22年度	23年度	24年度(見込)	左記以外のH23年度実績 ・旅館・ホテル等の現場で実際に仕事をしている人から「食」の情報発信及び実践講座について意見聴取を行った。 ・宿泊施設及び飲食店の料理長及び経営者を対象として講座を開催した。 (効率指標 算出式) 講座開催経費/講座受講者数
	ご当地グルメ販売数(成)		食	33,900	-	-	
	信州食フェア来場者数(成)		人	88,032	-	-	
	食の魅力づくり実践講座受講者数(活)		人	-	103	110	
	旅行商品造成送客数(成)		人	473	-	-	
	<効率指標(単位当たりコスト等)>講座受講者数		円/人	-	1,758	1,400	
事業の成果	事業の目標(H23)			事業成果・評価			評価区分
	H24までに県内の宿泊施設(料理)及び飲食店に対する満足度(県政世論調査)を50%以上とする。			宿泊施設の料理に対する満足度は、H20 42.9%、H21 42.5%、H22 48.2%、H23 48.2%と向上している。 飲食店の料理に対する満足度は、H20 36%、H21 38.5%、H22 39.3%、H23 41.0%と年々向上している。			b 期待どおり
事業の課題	区分		判定・説明				
	事業ニーズの変化	増加	横ばい	減少	判定の説明	・旅行にとって重要な要素である食の魅力を向上させることで、本県への観光旅行者の顧客満足度を高め、リピーター増やす必要がある。 ・信州型事業仕分けにおいて「要改善」とされた食の魅力づくり実践講座については、食の現場の方々(調理人、旅館の経営者等)の意見を聴取し、事業内容を見直して実施した。	
	県の関与を見直す余地	余地なし	当面余地なし	余地あり			
	事業改善(有効性・効率性)の余地	余地なし	当面余地なし	余地あり			
総合分析等	総合分析(今後の課題、取組方針等)	中期総合計画の主要施策「2-02観光立県「長野」の再興」において、県内の観光サービスに対する満足度を向上させるための取組みであり、23年度においては、概ね期待どおりの成果が得られたものの、依然として宿泊施設及び飲食店の料理に対する満足度は低い水準にある。さらに、本県の自然環境や歴史、地域文化に根ざした「おいしい信州ふード」を旅館、ホテルや農業、食品製造業者との連携により商品化するとともに、県外への情報発信を図る必要がある。					
	特記事項	H22信州型事業仕分け実施事業					